

平成28年度三番瀬自然環境総合解析業務について

三番瀬の自然環境を把握するため、次の内容で総合解析を実施することとしたい。

1 業務内容

本業務の主な内容は、次のとおりとする。

- (1) 平成23年度から平成28年度に実施した三番瀬自然環境調査の結果及び他部局等が実施した諸調査の結果から、三番瀬の現状について把握すること。
- (2) 「市川二期地区・京葉港二期地区計画に係る補足調査報告書」、「平成15年度三番瀬自然環境総合解析（三番瀬の現状）報告書」及び「平成22年度三番瀬自然環境総合解析報告書」等の過去の調査結果と、(1)で把握した三番瀬の現状を比較検討することにより、三番瀬の自然環境がどのように変化しているか把握するとともに、変化している場合はその要因を考察すること。
- (3) 三番瀬の自然環境の今後の変化傾向を考察すること。
- (4) 今後、三番瀬の自然環境の把握に必要な調査及び情報の収集・整理・解析にはどのようなものがあるか示すこと。

2 解析作業

作業に当たっては、次の内容について解析を行うこと。

(1) 物理環境

平成23年度震災影響調査事業（三番瀬の深浅測量）及び平成26年度三番瀬海生生物現況調査(底生生物及び海域環境)の結果と他の機関等が実施した調査結果から、三番瀬の地形、底質、水質及び流況について、過去からの変化傾向とその要因について考察するとともに、概ね5年後の三番瀬の物理環境の変化傾向について考察する。

なお、作業に当たり、三番瀬の流況については、平成22年度の総合解析のシミュレーション結果を参考とする。

(2) 生物環境

平成 26 年度三番瀬海生生物現況調査(底生生物及び海域環境)、平成 27 年度三番瀬自然環境調査(稚魚生息状況調査)及び三番瀬鳥類個体数経年調査(平成 24 年 4 月～平成 28 年 6 月)の結果と他の機関等が実施した調査結果から、三番瀬の底生生物、魚類、その他の水生生物及び鳥類について、過去からの変化傾向とその要因について考察するとともに、概ね 5 年後の三番瀬の生物環境の変化傾向について考察する。

なお、鳥類については、調査地域で実施された他の調査結果との比較により、調査手法、調査時間によって個体数に違いがないか確認し、その結果を解析に反映させる。また、三番瀬及びその周辺における個体数について、他の調査結果や広域的な傾向を考慮して、種別に変化の原因を含めて考察するとともに、今後の変化傾向を考察する。

(3) 周辺地域

三番瀬につながる行徳湿地及び谷津干潟について、それぞれの場所の調査結果から、その変化傾向について考察するとともに、概ね 5 年後の三番瀬の自然環境の変化傾向について考察する。

(4) 生態系

三番瀬における物理環境と生物環境との関係性、生物間の相関を考慮して、三番瀬の生態系構造を考察するとともに、概ね 5 年後の生態系としての変化傾向を考察する。

3 平成28年度三番瀬自然環境総合解析業務のスケジュール

時 期	作 業 内 容
4月上旬	受託者選定委員会の設置・委託業務の公告
～5月上旬	受託希望者から提案書受付
5月中旬	受託者選定委員会の開催・受託者の決定・契約
～6月中旬	外部資料収集・整理
～8月下旬	解析作業・専門家会議委員個別意見聴取・総合解析原案の作成
9月	平成28年度第1回三番瀬専門家会議（委員から意見聴取）
～1月	委員からの意見に基づく解析の見直し作業・報告書案作成
2月	平成28年度第2回三番瀬専門家会議・最終確定作業
3月	報告書印刷